

祝

50号記念

2013年1月

新春特別号

裏磐梯エコツーリズム協会の
ニュースレター

裏磐梯エコツーリズム通信

目次

P. 1

会長挨拶

P. 2~3

<特集>

村長あいさつ

ふりかえり

もう一度、協会って？

地域カフェ、講座の報告

P. 4

ばんだいの宝発見講座のご案内

裏磐梯 エコツーリズム 協会の考え方

裏磐梯エコツーリズム協会は、「人と自然」「人と人」のつながりを取り戻し、地域の自然や文化を守りながら伝え地域全体が元気になるような、新しい観光と地域作りを進めます。



裏磐梯 エコツーリズム 協会の活動

学ぶ

- ① ばんだいの宝発見講座
- ② エコツーリズム出前講座
- ③ 情報収集とネットワーク

守る

- ① モニタリングの実施
- ② 保全活動の実施
- ③ 外来動植物駆除
- ④ 飲み残しゼロ運動

伝える

- ① エコツアー通信の発行
- ② 地域カフェの開催
- ③ イベントの実施
- ④ 宝ツアーの実施
- ⑤ エコ商品の研究開発 (守り狐)



2013年 新年のご挨拶



会長 伊藤 延廣

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また「裏磐梯エコツーリズム協会通信」も、創刊50号の節目を迎えることが出来ましたことは、ひとえに会員諸兄弟のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年春からは、地域活性化委員会を受け皿とした「地域協働事業」として、大塩・北山地区の宝探しを会員各位のご協力を得ながら実施して参りました。その結果、これらの地域にも優れた宝が沢山あることを確認いたしました。また日本エコツーリズム協会からも助成を受け、モニタリングほかの事業を実施してまいりました。今後は、これらの宝に磨きをかけ当該地域の皆さんとともに共有し観光資源として発信すると同時に、これらを枯渇させないようなモニタリングなどを継続していければと考えています。

当協会の事業をさらに継続的に発展させるためには、会員一人ひとりの理解と協力が不可欠であります。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

裏磐梯エコツーリズム協会

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字小野川原1092-65

TEL: 0241-23-7860 携帯: 080-2827-1687 FAX: 050-7541-2411

Mail info@urabandai.com http://www.eco-urabandai.com



裏磐梯エコツーリズム通信 第 50 号発行記念

村長あいさつ

村長 小椋 敏一



この度は、裏磐梯エコツーリズム通信第 50 号の発行まことに改めてとうございませう。裏磐梯地区は磐梯山をはじめとする豊かな自然と資源に恵まれ、観光地として多くのお客様から愛されております。一方で植生保護や外来生物の影響などの問題もありますが、平成 16 年に環境省からエコツーリズムのモデル地区に指定されて以来、裏磐梯の環境保全と観光振興について地元の方々と共に村をあげて取り組み、県内外へエコツーリズムの推進を行っているところです。その中心となっている裏磐梯エコツーリズム協会は、エコツーリズムに熱心な地元の方々によって平成 19 年に設立され、磐梯山ジオパークである当村の魅力・楽しみ方の紹介、裏磐梯の美しい自然を残すための保全活動などをエコツアーカレッジや当通信を通して多くの方へ発信し、エコツーリズム普及にご尽力いただいております。

今年は磐梯山噴火から 125 年という節目となります。今後も、磐梯山をとりまく村の魅力発掘やエコツーリズム普及に向けたご活躍及び裏磐梯エコツーリズム協会のさらなるご発展をご祈念いたします。

ふりかえり



裏磐梯エコツーリズム通信も今回発行で 50 号となります。1 号は 2007 年 7 月発行ですので、5 年 6 ヶ月の間に 50 回の発行で年 9~10 回のペースとなりました。内容としてはカレッジの報告・次回カレッジの募集のお知らせが主で、イベントやモニタリングの報告等々の記事となっております。宝人の紹介も始めるなどさらなる情報を盛り込みたいところですが、早い段階での情報収集が不足しており改善点の一つにあげられます。紙媒体として村内各戸配布のため、区長便の差込作業にもご協力をお願いしております。メール配信は、会員・カレッジ参加メンバー・関係各機関などです。現在は紙媒体と同じものを配信しておりますが、今後はいろいろな媒体を利用して、広く発信していけるよう努力してまいります。皆様からのいろいろなご意見をいただきながら進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

もう一度、考えて見よう！ 裏磐梯エコツーリズム協会って？



守り狐



当協会は、地元住民の方や近隣市町村の方、活動に共感していただいている遠方の方々や事業所など多くの会員で成り立っております。「学ぼう・守ろう・伝えよう」を合言葉に、「人と自然」「人と人」とのつながりを取り戻し、地域の自然や文化を守りながら伝え、地域全体が元気になるような新しい観光と地域づくりを目標に、活動を進めております。具体的には、磐梯山周辺をフィールドとするガイドさんや観光に携わる事業所会員さんの方々と、自然資源のモニタリング調査・資源の共有やおもてなしの心の醸成のためのカレッジ開催・地域を元気にする各種イベントへの参加や支援・ものづくりのスキルアップ・地域の宝共有のネットワーク作り等の活動しております。

「地域を良くするって」なんだろう？何をすれば良いの？自分たちでできることから一緒に始めませんか。

二戸からエコツーリズム研修

1 2 月 3 日岩手県二戸市から「地域資源を活用した交流人口の拡大に係る仕組み及びガイド技術の向上を目的」にエコツーリズム視察研修ということで、地域作り団体やガイド団体・市関係者の方々 20 名が当協会においでになりました。協会の方ではサイトステーションミーティングルームにおいて、伊藤会長が「エコツーリズムカレッジの取り組みについて」具体的に取り組んできた経緯やカレッジのないようについて写真をまじえて説明をいたしました。

二戸市は早くからエコツーリズムを取り入れ、実践してきたところです。裏磐梯エコツアーフェスタでも当時の二戸市役所・エコツーリズム推進室の室長であった小保内敏幸氏（現市長）が、パネラーとして二戸のエコツーリズムの取り組みについて発表されているほどのエコツーリズム先進地なのです。当協会の活動が少しでも研修対象になるのかと不安でもありましたが、皆さんから熱心な質問もたくさんいただき、お互いの現状の問題点なども話し合うことが出来て大変有意義な時間を持つことができました。

後日、二戸市長・小保内氏より丁寧なお礼状をいただきました。

地域カフェ

(大塩・北山調査中間報告会)

昨年12月20日、裏磐梯において地域カフェが開催されました。寒さの厳しい師走にもかかわらず大塩地区や川桁地区などからも参加者を迎え、本年6月以降続けてきた調査の中間報告を行いました。お昼は大塩地区産の新米のおにぎりや豚汁やお漬物などを食べながら、地産地消の促進等大いに話が弾みました。



『猪苗代歴史探訪ツアー』第2弾！ 戊辰戦争の戦跡を訪ねて

昨年11月22日猪苗代歴史探訪ツアー～戊辰戦争の戦跡を訪ねて～が開催されました。

まずは五十嵐定信講師による母成峠での西軍・東軍の攻防の様子をお聞きました。当時の様子がだんだんに浮かんできます。当時は埋葬もままならなかった様子が慰霊碑に書かれてあり、国内での最後の戦争が初めて身近に確認できました。塹壕跡なども残っており、脇を

下り落ち葉を踏みしめながら達澤不動滝まで歩きました。昼食後は旧二本松街道を天鏡閣から十六橋まで歩きました。母成での攻防がままならなかった会津藩は十六橋まで急いだことでしょうか。惜しくも西軍に先を越され、その先会津へと戦いは勢いをましていきますが…今回のツアーはここまで。今では天鏡閣からの散歩コースにもなっており、まだ残る紅葉が陽を浴び印象的でした。今回のツアーは、改めて明治維新を見直す機会をあたえられたように思います。



広域活動を！
エコツーリズムを広域に
さらなる広がりをも！
さらなる広がりを期待する

副会長 江花 俊和

裏磐梯エコツーリズム通信が50号を迎えたことは大変素晴らしいことだと思います。関係各位のご努力に敬意を表します。

私が裏磐梯エコツーリズムカレッジを受講したのは、裏磐梯の自然をもっと知りたいと思うと同時に、自然環境を保全しながら、それらを活かした観光という考え方に賛同したからでした。平成17、18年にエコツーリズムの理念に沿った3つの講座「裏磐梯学講座」「育成学講座」「保全学講座」を受講しました。その後「裏磐梯エコツーリズム協会」が立ち上がり、裏磐梯地域外からもということで理事を仰せつかりました。これからの観光は広域で進めなければならないと思っていたので受けたのですが果たせないまま今にいたって申し訳ないと思っています。

これからの観光には、エコツーリズムの理念は大事なことだと思います。しかし1地域だけでは限界があると思います。2町1村で協議会を立ち上げた「磐梯山ジオパーク」のように、周辺地域が一つになって進めていかなければならないのではないかと思います。HPや観光PRを広域で全国に発信し、その上で各地域独自の自然、歴史、生活・文化や食べ物、産物などの観光資源を活かすことだと思います。

「言うは易く・・・」で簡単にできることではないことは百も承知ですが、エコツーリズムとジオパークのお互いの理念を取り入れながら補完し合い、観光協会をはじめ周辺地域が一丸となって進めていくことが必要ではないかと思います。



ばんだいの 宝 発見講座

2013 2月

「ばんだいの 宝 発見講座」

昨年度よりカレッジの名前を新たに「ばんだいの宝発見講座」といたしました。皆さんと共に、磐梯の宝をたくさん発見していきたいと思えます。

この講座では、観光地としての魅力（自然・歴史・文化・人材）を掘り起こし、それを学び、守り、伝える活動を通し、質の高いサービス（おもてなし）の提供を可能にする事を目的とし、住民総ガイドを目指しています。

講座には、どなたでも参加できます。ぜひ、一緒に磐梯の宝を再発見・再認識いたしましょう！

2012 今後の予定
今年度最後の講座です

2月
・冬鳥に会いにいこう
スノーシューツアー

お楽しみに！

.....

源流域裏磐梯の水を守ろう！
「飲み残しゼロ運動」展開中！

ペットボトル、缶コーヒーなど、日頃つい残してしまう飲み物を流してしまうと、きれいな水に戻すにはその数倍の水を必要とします。油に気を使うだけでなく、ふだんの飲み物にも気を使いたいですね・・・。ご協力お願いいたします。

『雪中バードウォッチング』

～毘沙門沼の白鳥たちに会えるかも～

- 日 時／2013年2月14日（木）9時 集合受付～12時
- 集 合／裏磐梯ビジターセンター玄関前
- 講 師／宮本 千帆 氏（もくもく自然塾専任ガイド）
- 受講料／800円（会員500円） おやつ・保険代含む
- 持ち物／スキーウェア（野鳥観察のため、じっとしている場合に備えて暖かい服装・ホッカイロなども）帽子、スパッツ、手袋（出来れば薄手のものも・双眼鏡を使う際に扱いやすい）サングラス、靴（長靴・防寒靴・スノーブーツなど）飲み物

※スノーシュー（かんじき）&ストックは レンタルの用意もありますのでお申し込みください

※双眼鏡お持ちの方はご持参ください（5台までは用意あります）

雪に包まれた寒い冬、森や沼にはどんな鳥が、どんなふうに過ごしているのでしょうか？ スノーシューをはいて会いにいきましょう！

もくもく自然塾の鳥博士こと千帆さんに野鳥のおはなしをうかがいます。

おりしもバレンタインデー・・・特製チョコレートケーキとコーヒーをリュックに詰めて、さあ出発しましょう！



<参加申込み>

必要事項をご記入の上、ファックス又はお電話にてお申し込みください。

裏磐梯エコツーリズム協会 ■ F A X : **050-7541-2411** ■ 電話 : **0241-23-7860**

※締切りは2月12日（火）です。準備等ございますので予めお申込み頂きます様、お願い致します。

参加申込書

ふりがな 名 前	(S・H 年 月 日 歳)	申込み 講座	2/14 口雪中バードウォッチング □スノーシューレンタル
住所	〒		
電話		F A X	
E-mail	※ご記入いただきますと、次回からエコツアー通信をメールにてご案内いたします。		

※ご記入いただきました個人情報は、当協会カレッジの案内に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。